



いぶき

いぶき 第48号
 発行者 多田 慎也
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

「当院の救急医療について」、
 「東日本大震災・福島労災病院での体験に学ぶ」
 香川労災病院 副院長 北浦 道夫
 元福島労災病院 看護部長 古屋敷智恵美

今回は救急棟内覧会に合わせ2人の演者による公開健康講座が開かれました。
 当院北浦副院長による「当院の救急医療について」と、現山口労災病院看護部長(元福島労災病院看護部長)の古屋敷智恵美さんによる「東日本大震災・福島労災病院での体験に学ぶ」という演題でした。



東日本大震災の実体験に基づいて講演される古屋敷看護部長

北浦副院長の講演では、香川県中讃医療圏における当院の役割や、医療圏での救急医療の現状とこれまでの問題点、新棟建設の目的などについて説明がありました。
 救急医療の現状として香川県が運用する「医療ネットさぬき」のHPの紹介がありました。インターネットを利用して、救急隊がどんな患者さんをどこへ搬送しているか状況がリアルタイムで把握でき、救急患者搬送の効率化に利用されています。当院の平成24年度の救急搬送受入は2、641件と香川県内の救急医療機関の中では1位でした。

入患者数は丸亀1、968人(丸亀市消防の41・6%)、多度津357人(多度津消防の41・8%)、善通寺329人(善通寺消防の24・9%)、仲多度南部477人(仲多度南部消防の30・5%)でした。
 問題点としては丸亀市からの受け入数が平成18年の2、217人(同49・6%)から減少していることです。
 その原因の一つとして、当院が満床となり救急対応ができなくなる時間の増加が考えられました。救急受け入れ停

止時間数を日数に換算した場合、毎月平均で、平成23年に12・1日間、24年に10・1日間でありました。
 そこで、この状態を改善するために今回新棟を増築し、ICUを6床から8床に増床し、さらにHCU(ハイケアユニット)を8床新設しました。新しい建物の1階は救急診察室、救急処置室、2階はICU、HCUとなっております。

講演の後半は、東日本大震災当時に福島労災病院で看護部長として働かれていた古屋敷智恵美さんが、震災当時の福島労災病院の状態を自身の経験に基づき講演してくださいました。
 福島労災病院は福島第一原発から45kmのいわき市にある405床の労災病院です。いわき市では、震度6弱を記録しており病院も被災しました。
 震災直後は病院の一部は壊れ、エレベーターが止まり、階段に職員が並び、手渡して食事や病棟に運んだら、病院機能の維持にも大変な苦労があったようです。古屋敷看護部長は、現場の先頭に立ち様々な事態に対応し、職員と共に力を合わせて助け合い、病院の機能を保ちながら震災を乗り越えました。

香川労災病院の理念
 働く人々や地域の人々に
 安全で安心のより良い
 医療と看護を提供します

特に震災直後は、病院職員も被災者でもあり、御家族を震災で亡くしたり、家族の行方も分からない方もいました。皆、「しっかりとしなければ」とか「家族は大丈夫かな」という気持ちも持ちつつも、病院に出勤して明るい表情で、患者さんのために本当によく働きました。
 もちろん、辛いときもありました。そんなときは職員同士で、病院で辛い気持ちを互いに話しあったり、お互いに手に入れた食糧などを分け合ったりして助け合い、励まし合いました。そうして、お互いが、前向きで明るい気

持ちや優しい気持ちになれた
り、支援をしてくれる人の温
かさ本当に感謝した事です。
また職員が明るく一生懸命
働くことにより、患者さんや
御家族の方から「こんなに大
変な時でも看護師さん達が
生き生きと働いていることに
勇気をもらえらる」と言われま
した。

震災を通じて、看護管理者
としては、情報の一本化、共
有化への重要性(社会への情
報発信と被災地域への情報提
供を含む)、医療体制維持の重
要性(災害時の救命救急体制、
慢性疾患や透析患者対応、避
難所での医療、精神的支援)
などを再認識しました。

病院でできる取り組みとし
て、災害対応のための教育・
人材育成、避難訓練、建物の
地震対策(棚の固定なども)、
災害に備えた備蓄の管理、災
害時マニュアルの整備・見直
しなどが考えられました。

公開健康講座当日は非常に
多数の皆さんに御来場いただ
き、ありがとうございました。
会場が狭く、空調が不十分で
あったため、大変御不便をお
掛けいたしました。この場を
借りてお詫び申し上げます。
(文責)

患者サービス向上委員会
國土 泰孝

なぜに効く薬ありますか？

薬剤部 増田 玲子

当院は、夜間救急外来を設
けていますが、なぜ症状の患
者様がたくさん来られます。
なぜ症候群の多くはウイルス
感染により起こる病気です。
冬季に主に流行します。

原因となるウイルスは「ア
デノウイルス、ライノウイル
ス、RSウイルス」などが代
表的ですが、全部で400種
類以上のウイルスが原因とな
るといわれています。

このため、なぜ症候群には
何度でも罹患(りかん)しま
す。また「夏かぜ」と呼ばれ
る、夏季に流行するなぜ症候
群(エコーウイルスやコクサ
ツキーウイルスなどが原因)
も種類がたくさんあり、何度
もかかります。

鼻汁、咳、くしゃみ、痰(た
ん)、発熱などが主な症状です。
吐いたり下痢をしたりといっ
た症状がみられることもあり
ます。なぜ症候群をきっかけ
に、中耳炎や副鼻腔炎、肺炎
といった病気に罹患すること
もあります。夏かぜの場合は、
のどに口内炎のような発疹が
できて、痛みのために食べ物
がのどを通らなくなることや
(ヘルパンギーナ)、結膜炎(咽
頭結膜熱)、髄膜炎(無菌性髄

膜炎)を起こすこともあります。

通常、臨牀的な診断が行わ
れます。咳や鼻汁といった呼
吸器系の症状が主にみられれ
ば、なぜ症候群と診断されま
す。血清中のウイルス抗体値
の上昇や、ウイルス分離によ
る診断は、普通行われません。

なぜ症候群に対して予防接
種はありません。また原因と
なるウイルスを抑える薬(抗
ウイルス薬)も今のところあり

ません。薬は咳、痰、鼻汁と
いった、個々の症状に対する
対症療法が中心になります。
また患者が元気な時は、解
熱剤の使用は必要ありません。

安静と栄養、水分補給はしつ
かり行います。ただし慢性疾
患がある方は、なぜ症候群の
罹患をきっかけに悪化するこ
とがあるので、注意が必要です。
日常は、外出から帰ってきた
時などに手洗いとうがいです
ると、予防効果があります。

古来よりかぜは万病の元とい
います。高齢の方は注意しすぎ
るくらいがよいでしょう。

X線画像が1秒余りで確認できるようになりました

中央放射線部 部長 太田 育宏

本年3月より救急棟にて、
64列CTと一般撮影装置が稼
動しています。CTは昨年3
月に導入した装置を移設しま

したが、一般撮影は最新のD
R(Digital Radiography)を導
入しました。

昔は、医師がレントゲンフ
イルムを光にかざすシーンを
よく目にしましたが、現在の
X線撮影はフィルムからデジ
タルへと移行しています。当
院でも平成10年に、フィルム
ではなくイメージングプレー
ト(IP)という体を通り抜
けたX線量を記憶できるもの
を使用することで、撮影画像
をデジタル画像として扱うC
R(Computed Radiography)を



DR (Digital Radiography)



救急棟 一般撮影室

導入しておりました。近年X
線撮影画像をダイレクトに取
得出来るDRが開発され、こ
れにより撮影毎に画像を読み
取ることも無く、撮影後1秒余
りで画像確認が可能となりま
した。また長尺撮影(全脊椎
撮影・下肢撮影)の装置にも、
このDRを取り入れることで
撮影前後の作業負担が大幅に
減少しました。

これらの装置を導入したこ
とで救命救急への迅速な対応
が可能となり、患者さまにと
つて撮影時間や待ち時間の短
縮のみならず、より少ない線
量でこれまでと同等の画像が
得られることから被ばく低減
を図ることが可能です。

DRは、多くの医療現場で
被ばく低減とデジタル画像診
断の効率化に貢献できるため、
今後の装置の更新は、DR導
入を進めていきたいと思つて

家族のチカラ

写真家 平井慶祐 けいすけ



まんのう町出身の写真家の平井慶祐さんは、早稲田大学法学部卒業後、カナダへ遊学。その後フリーの写真家として宮城県石巻市にて活躍中。
人間の笑顔テーマに2nd写真集『YELLOW YOU (エール to キミ)』エールを贈る写真集などを出版されています。

人間の写真を撮らせて貰う中で大切にしたいキーワードはたくさんあるけれど、その中でも「家族」と言うキーワードはボクにとって特別である。世界中どこに行っても、ついフラインダー越しに「家族」の姿を追いかけてしまっている自分を発見する。あるときから、ボクにとって、避けられない永遠のテーマなのだと思ふようになった。理由は、「家族のチカラ」を信じたからだ。

カンボジアのスラム、バラック小屋で輪になって家族水入らずの食事を取る姿に感動してしまつて、家に上がり込んでいっぱい写真を撮らせて貰ったことがある。家族全員で夕飯を囲んだ子供時代を思い出して里帰りしたタイミンダでは意識してそういう家族の時間を作りたいと思うようになった。その一方で、家族の辛さや悲しさ、面倒くささを感じることもある。石巻に越して来てから、家族を無く



した人たちの悲しみと向き合わざるを得ない場面が格段に増えた。シャッターを押すベきか迷うこともたくさんある。何度も目を逸らしたくなつたり、関わることで面倒に巻き込まれるんじゃないか?と思つたりすることもあつた。それでも「家族のチカラ」を信じよう。胸を張って今そう言えるのは、ある家族との出会いがキツカケだった。その家族と出会つたのは震災直後の四月、まだまだ道端に瓦礫の山が積まれていたころだった。小さな避難所で出会つたお爺ちゃんとお婆ちゃんは、最初からよそ者のボクを優しく受け入れてくれた。緊張するボクに冗談をたくさん言つて笑わせてくれたりもした。まだ出会つて数日しか経つて無いころ。おじいちゃんが「カメラマンこっち来い!早く来い!」と大声でボクを呼ぶので走つて行くと、泥だらけの写真を握りしめながら「下の孫娘だあ」。こいつ、津波でダメだ

つたんだあ。撮つてけろ。」お爺ちゃんに言われて、何度もシャッターを切つた。怖くて聞けなかった「家族は無事でしたか?」の質問の答えを知つた瞬間だった。
その子のお母さんとはじめて会つた時のこと、疲れ果ててヒドイ顔をしていたお母さんをお腹の中には、新たな命が宿っていた。
数カ月後、避難所が解散になる日、先に仮設住宅に入った人たちも集まつて来て、ささやかな再出発式が行われた。もちろんあの家族も全員集合。相変わらず口の悪いお爺ちゃんもご機嫌で、家族みんな笑顔いっぱい。生まれたばかりの一番下の妹がお母さんの腕の中ですやすや眠っているところに避難所のメンバーが入れ替わり立ち代り覗き込みに来て大人気だった。喜びに

満ちたひとときだった。それからも事あるごとにこの家族の写真を撮らせて貰っている。真ん中の妹の遺影を抱いて、ニッコリ笑顔の家族写真も撮らせて貰つても喜んでくれた。この家族との出会いがなければ、家族のチカラを今ほど信じられてはいないと思う。家族っていいよ。これからも家族の風景にカメラを向けて行こうと思う。

お知らせ

公開健康講座

- 日時 平成25年6月7日(金) 13時30分～15時
- 場所 香川労災病院管理棟会議室
- 内容 ピロリ菌の最近の話題と早期胃がんの診断と治療について
- 講師 消化器内科部長 井上秀幸
- 参加 無料

セタロビーコンサート

- 日時 平成25年7月4日(木) 15時～16時
- 場所 香川労災病院1階 外来ロビー
- 内容 「プサルター響の会」によるプサルターとピアノの演奏
- 参加 無料

この夏も元気に過ごしましょう
— 薬味は小さな主役 —

主任栄養士 奥村 誠子

これからの季節、暑くて食欲があまりないからと、素麺など、つい冷たくてあっさりとした食事に偏ってしまいがち。そんな時こそ、「薬味」でアクセントをつけるのがお勧めです。

「薬味」とは、料理に少量加えることで、食味を引き締め、芳香、色彩を添えることで食欲を増進させる香辛植物（薬草）の総称です。薬味の代名詞といえば、葱、生姜、ワサビ、山椒、みょうが、紫蘇などが挙げられます。

ここ、讃岐ではうどんの薬味として、葱と生姜は欠かせないですね。一番だしに香りの強い香辛料を加えると風味が損なわれますが、いりこだしと相性のよい生姜との組み合わせは、かえって臭みが消えて爽やかな風味がうどんを引き立てるのだそうです。

麺類に限らず、刺身、和え物、肉料理など々、日本の食卓に欠かせないのが「薬味」の存在。ある料理家の方は「脇役とかおまけのイメージでは使わない。薬味の方で料理の味をまとめ上げる。」そして、「薬味の処理で気をつけたい

ことは、水にさらしすぎないこと。苦味（アク）が抜けてしまつては、美味しくありませんね。」と話されています。また、薬味は料理を美味しくするだけでなく、夏バテや食欲減退にも効果を期待できる食べ物なのです。

料理の面だけでなく、冷蔵庫などがなかった時代には、細菌の繁殖を抑えてくれる薬味は、食あたりを防ぐ知恵として活用されていたようです。残念ながら強力な食中毒の原因菌にも対抗できるほど万能ではなく、ウイルスや自然毒にも効果はないので過信は禁物です。

また、薬味はスパイスと同様、塩分制限のお食事を召し上がっている方の心強い味方です。薬味の香りや辛み、酸味など

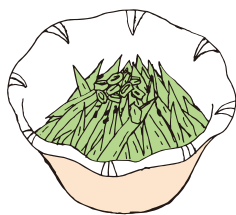
丸亀市検診のお知らせ

医事係長 浅野 龍哉

注意事項

6月1日より丸亀市の検診が始まります。当院で可能な検診、予約、受付時間及び受付窓口は別表のとおりになります。

※来院の際には、丸亀市受診票、診察券（お持ちの方）を必ずお出し下さい。
※子宮がん、乳がん検査の場合



早めに食べきるようにしましょう。

のアクセントを料理に添えると、うすめの味付けでも満足感のある仕上がりになりますので、ぜひ活用下さい。

夏向きの薬味を一品ご紹介します。

材料（みょうが、青じそ、葱、貝割れ大根、生姜）分量はお好みで。青じそはせん切り、みょうがと葱は小口切り、貝割れ大根は5mmから1cm程度のごく切りにし、水にちよつとさらしてアク抜きをした後、よく水切りをします。

生姜はみじん切りにし、水切りした他の材料と合わせ、ざつくりと混ぜれば出来上がり。冷たい麺類や肉料理、冷や奴にもよく合いますのでお試しください。生ものですので、

合は、病気が見つかった際にすぐに治療を行うこともありますので保険証の持参もお願いします。
※無料クーポン券をお持ちの方は、必ず丸亀市受診票と一緒に持ちください。
※予約は窓口で直接お申し込みいただくか、お電話でもお取りすることが出来ます。

なお電話による予約受付時間は13時～17時とさせていただきます。御了承下さい。
※乳がん、子宮がんは1日の検診人数が決まっています。胃がんは月1～2回で人数の制限があります。多くの方が検診を受けられるように、キャンセルや変更のご連絡は早めにお申し出下さい。

検診名	予約窓口	受付時間	受付窓口	検診最終日
特定健診	健診センター	予約時に指定された時間	健診センター	10月末
生活保護健康診査				
後期高齢者健康診査				
胃がん	健診センター	月1～2回指定された時間	総合案内	12月
大腸がん	予約不要	9:00～11:00	総合案内	12月20日
前立腺がん	予約不要	9:00～11:00	総合案内	12月20日
肝炎ウィルス	予約不要	9:00～11:00	総合案内	12月20日
乳がん	医事課	9:00～10:00 火～金1日5名	総合案内	12月20日
子宮がん	医事課	8:30 月～金1日3名	総合案内	12月20日
肺がん	実施していません。			

新任医師紹介



第二泌尿器科部長
櫻本 耕司

私は平成3年から平成5年まで当院泌尿器科に勤務してきて、約20年ぶりに当院に戻ってきました。

前回勤務当時は退職された西先生と私と2名だったところに平成5年4月に水野先生が着任され3名体制になったばかりだったことや、今の病院に建て替わる直前で工事中であったこと、古い病院では病棟には扉はなくカーテンだったことなど思い出されます。しかし当時から勤務されている先生方は数人程度に減っていて、以前に家族と住んでいた北棟官舎(外壁に塗られた色から通称ピンク官舎)はなくなっていて駐車場になり、私も今回は単身赴任であるなど今は昔の感があります。電子カルテやDPCに関しては前任地での経験はものの役に立ちそうになく二つずつ教えていただき覚えていっている途中ですが、なかなか覚えにくく苦労しているのが現状です。

早く現在の体制に慣れるように頑張っていきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。



内科医師
山名 浩喜

どうも、はじめまして。内科3年目の山名浩喜と申します。出身は徳島県でして、島根大学を卒業しました。まだ記憶に新しいドラマ「ゲゲゲの女房」の舞台、石見銀山世界遺産登録、最近では出雲大社平成の大遷宮など、ずいぶんと山陰地方が盛り上がりつつあるようですが、全て私の卒業後。失礼な話、あの地がこんなに注目を浴びる日が来る時は当時は思ってもみませんでした。

大学卒業後、再び四国に戻って参りまして、香川大学研修プログラムの下研修医として香川県で働かせて頂きました。研修期間中、この香川労災病院で半年間を過ごし、いつかまたこの病院で働くことができたかと強く思っていました。これほど早く希望が叶うとは、嬉しい限りです。生まれ育った四国の地で、

少しでも皆様のお力になれたらと思います。何かと至らない点もあるかと思いますが、精進して参りますので、どうぞよろしく願います。



循環器内科医師
中野由加理

皆様、はじめまして。4月から当院へ赴任いたしました。循環器内科の中野と申します。出身は坂出、高校は丸亀でしたが、大学は岡山で前任地は今治、と少し香川から離れたところで生活していたため、久々に地元に戻ってきて懐かしく感じております。

また、高校通学時の労災病院内の面影は、鏡の中の自分と同様、ほとんど残っていませんが、新しくなっている病棟や救急センターをみて、このような素晴らしい施設で働けることを有難く思っています。他県で住んでいたためか、香川県が地元だからか、うどん屋さん巡りをしたことがないので、もうすぐ2歳になる娘といろいろまわろうと考えておりますので、小さな子供と一緒にいける穴場的なうどん屋さんを教えてください。

まだまだ不慣れで、多々ご迷惑をお掛けすることとは思いますが、地域の皆様のお役に立つことが出来るよう、鋭意努力いたしますので、何卒よろしく願います。



循環器内科医師
高木 航

皆様初めまして。今年の4月から香川労災病院循環器内科で働くことになりました高木航です。生まれも育ちもずっと香川で、大学6年間のみ県外(鹿児島)でした。大学卒業後も、初期研修医として香川に戻ってきました。初期研修が終わった後も、同じ病院で後期研修医を始めましたので、この度初めての病院移動となりました。病院移動も初めてですし、また初めての丸亀生活で戸惑うことも多いです。

循環器疾患には急性疾患が多く、忙しい毎日が続いています。分経歴できることも多く、とても充実しています。現在4年目ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。



外科医師
二萬 英斗

この4月から外科の仲間に加えていただき早いもので2ヶ月が経ちました。故郷岡山を初めて離れ、香川での暮らしにもようやく慣れてきたように思います。

香川に赴任して驚いたエピソードがあります。入院患者さんと食事の話をしている「家ではどのくらい食べていますか?」と聞くと、「昼ならうどん2、3玉かな」という答えが返ってきました。単位がうどんであることにまず驚き、食べる量が多いことにさらに驚かされました。休日などにうどん屋さんを巡ってみると確かにどこも非常に美味で、たくさん食べてしまうのも納得です。さすがはうどん県といったところででしょうか。でも、うどんと天ぷらばかり食べてたつてしまわないように気を付けたいといけませんね。まだまだ若輩者ですが、病院にも香川にも早く馴染んで、患者さん方のお役に立てるよう精進していきますのでよろしく願います。



外科医師
坂本 真樹

医師3年目の坂本真樹と申します。この度、香川労災病院に就任しました。2012年4月から8月に当院に勤務し、

転勤し再度就任させて頂きました。当病院で外科医として勤務しています。日々修練を積み、皆様方の力添えになれるよう精進致しますので今後とも宜しくお願い致します。



整形外科医師
石橋 勝彦

4月より赴任しました石橋勝彦です。私は平成17年に産業医大を卒業し、医師として9年目になります。

ここに赴任する前は鳥取県米子市にある山陰労災病院で2年間働いておりました。四国に上陸するのは、2年前に前任の渡嘉敷先生が赴任した

際に遊びにきたときが初めてで、その時は香川労災病院にお世話になるとは思ってもおりませんでした。おいしいかどうかを探そうと思っております。働きはじめて2ヶ月が経過しようとしておりますが、クリティカルパスが充実している、在院日数が短く、回転の速い病院だと思えました。スタッフの方も迅速に対応してくださり働きやすい環境に思えます。私も皆さまにご迷惑をお掛けしないように心がけ、頑張つてまいりたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



整形外科医師
山口 さおり

本年度4月より赴任いたしました。整形外科勤務の山口さおりです。産業医科大学を卒業し、昨年までは広島県福山市にて勤務しておりました。

整形外科の女性医師はどの病院に勤務しても珍しがられま



臨床研修医
河野 寿明

4月より勤務させて頂いております。卒後臨床研修2年目になります。河野寿明と申します。9月末までの半年間を香川労災病院で研修させて頂いたこと、消化器内科をローテートさせて頂いたこと、私は愛媛県出身であります。私より転勤族である私には、心より故郷と呼べる土地はありませんが、今ではこの讃岐の地が私のホームグラウンドとなりました。この先も香川県で医師として勤めを果たしていきたいと考えております。

香川県はなんといいってもう

編集だより

患者サービスマス向上委員会
真鍋昌謙

4月に新救急棟がオープンし、当院も新しいスタートを切りました。心機一転新たな気持ちで頑張つて行きたいと思っております。さて、今年もまた梅雨入り宣言が気にかかる頃となりました。鬱陶しい天気が続く頃ですが、7月4日に恒例の七夕コンサートを開催しますので是非ご観覧ください。また8月にはアンケート調査も実施予定です。皆様方の声により良い病院作りの第一歩となりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。



● 労災病院周辺で見られる鳥 ●

コジュケイ

主任薬剤師・吉村正則

ハト位の大きさで留鳥として、市街地から山地の林、草地、農耕地などで見られて主に植物の種子や芽、葉、昆虫類を食べている。元来は中国南部に分布している鳥だが、狩猟用として放鳥されたのが増えている。